

品質・安全への取り組み

■ 会社トップによる工場パトロール

品質・安全への取り組みを強く促進するために、当社社長による夏季恒例の事業所訪問を品質・安全衛生会議への出席に変更し、社長ならびに品質及び安全衛生担当取締役と品質保証担当者・安全衛生担当者と活発な意見交換と情報の共有を進めました。



工場パトロール



品質・安全衛生会議

■ 階層別教育

人事ユニット育成グループとの連携により階層別教育に参画し、品質に関する教育を実施しました。



研修風景写真

■ 経営会議（品質会議）

経営会議において品質会議を開催し、冒頭社長は品質に対する方針を明確に指示しました。

事業本部長および事業部長は自部門の品質方針、取組、品質問題が事業部内で議論解決される仕組み等の説明を行いました。品質管理室は、発足の経緯から現在までの活動と今後の進め方について説明を行いました。

社長、事業本部長という会社・事業部のトップ自らが品質に対する方針を明確にすることにより、さらに全社一丸となって取り組むことを確認しました。

なお、今年度の重要活動の一つである、「品質改善強調月間」の開催が承認され、第一回を11月に開催します。

また、品質保証に係る事業部間のレベル向上のために、「品質保証部門連絡会議」を定期的に開催します。

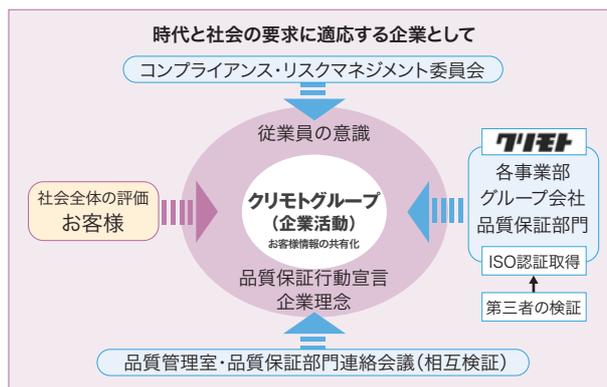
■ 品質管理のレベル向上

品質管理室員による事業所別会議への陪席事業所ごとに開催される品質会議に、品質管理室員が陪席し、論議された内容や、世間で生じている課題・問題・その他の情報に関して、全社展開することにより、情報の共有化をはかり、品質管理のレベル向上を推進します。

■ 建材事業部 ISO9001 取得への取り組み

建材事業部において古河工場だけが取得しているISO9001認証をすべての建材関連工場（8工場）と本社・支社店を含めて建材事業部全体に拡大した認証を目指しています。2008年内に認証取得予定です。すでに2008年初頭より取り組みはじめ、11月10日から13日まで変更審査を受けます。これにより建材製品の品質確保を行っていきます。

■ お客様満足の上に向けた検証体制



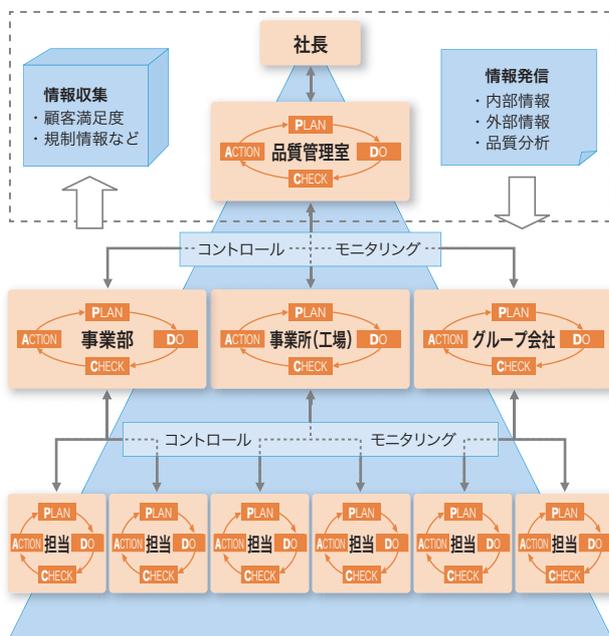
品質管理室

2008年1月、クリモトグループ全体の品質管理活動を統括する機能を担う部門として、栗本鐵工所本社に社長直轄の品質管理室を設置しました。

栗本鐵工所各事業部およびグループ会社の品質管理活動をお客様の視点で客観的にチェックし、グループ全体の品質管理の仕組みと品質保証活動を改善していきます。

お客様に製品・サービスをお届けするのは、グループそれぞれの各事業部門であり、お客様の声に直接接するのは営業部門をはじめとする実務部門です。当社にお寄せいただくお客様の貴重な声を速やかに、正しく受け取り、グループ全体で活かすよう努めています。

そのために、品質管理室による品質保証体制の検証と意識啓発・教育訓練を実施し、営業・技術・製造・間接部門ほか全従業員が、お客様満足の向上のために活動し、常に「安心と安全」を提供する企業グループであるため、継続的に改善を積み重ねていきます。

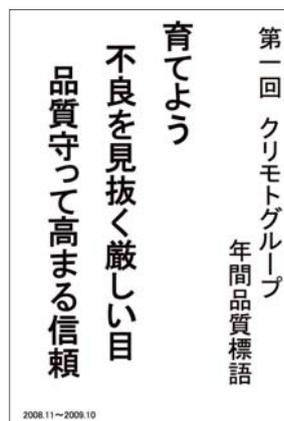


品質改善強調月間

クリモトグループでは、毎年11月を「品質改善強調月間」と定め、継続的品質改善にむけた諸活動を推進しています。

- ・経営層による品質メッセージの発信と従業員全員へ周知します。
- ・品質標語の募集とポスター掲示により従業員全員参加意識を啓発します。

- ・日常業務を見直し、お客様に提供する製品、サービスに関する情報が正しく伝わっているかを重点検証します。
- ・全員参加による改善提案の強化と推進。
- ・品質管理室による組織横断的取り組み内容を検証します。



標語 (2008年11月掲示予定)



ポスター (2008年11月掲示予定)

品質保証部門連絡会議

お客様に製品・サービスを提供する各事業部、グループ企業ごとにある品質保証部門のスタッフが相互に交流し、お客様から寄せられた情報を共有化することで、多様な事業を持つ当社グループ全体で情報を活用する連絡会議を開催しています。お客様からの当社に対する評価や、お客様満足にかかわるアンケート情報を分析・共有し、自らの取り組み改善に活かすとともに、グループ内で相互チェックしています。

改善提案・QC (品質管理) 活動

工場および支社店の全ての従業員が参加する改善提案活動と、各工場では小集団活動による改善活動を推進しています。

毎年、多くの改善提案が行われ、事業の効率化が進んでいます。



	対象人数	年間総件数	ヒヤリハット件数
合計	1,531	21,508	1,189

2007年度